

### 1 駒立岩

那須の与一がおうぎのまとをい落す時、この岩の上に駒、つまり馬をとめて、波にゆれ動くおうぎをみごとくにい落しました。



**クイズ** 今、この岩は何の中にあるでしょうか？

### 2 祈り岩

那須の与一がおうぎのまとをい落すとき、この岩の所で、「あのおうぎの真ん中をい落させてください。」といのりました。



**クイズ** この岩のすぐとなりに有るバス停の名前は？

### 3 鍛引き

平氏のさむらい悪七兵衛景清と源氏的美屋十郎とが一騎打ち（一人対一人のたたかい）の勝負をした時、十郎が太刀（大きな刀）を折られて逃げ出すのを、景清が逃がしてはならないとくま手（長いえの先にクマのつめのような鉄のつめをつけたもの）を十郎の鍛（かぶとの後ろや左右にたれて、首すじをおおうもの）にひっかけ、たがいに引き合ったが、ついに鍛の糸が切れて、やつにげられたとつたえられています。



### 4 洲崎寺

洲崎とは、水の中から土やすながつき出た所という意味で、昔このあたりは海岸であったと思われます。源平合戦の時、継信の死体を本堂のどびらに乗せてはこんだつたえられています。



**クイズ** このお寺の境内には、香川県の保存木になっている大きな木があります。その木の葉は、秋にはどんな色になるでしょう？

### 5 弓流しの跡

義経が海に入ってたかっていたとき、わきの下にはさんでいた弓を、海に落してしまいました。まわりの人達の止めるのも聞かず、危険をおかしてその弓を拾いあげた場所です。



**クイズ** この場所は、今も海の中にあるでしょうか？

### 6 総門跡

平氏は六万寺にいる安徳天皇を源氏から守るため、ここに門を立てて、たたかいにそなえました。琴電八栗駅の北100mくらいの所にあります。



**クイズ** ここには、春になると美しい花がさく木があります。学校にもあるお花見をする木とは何でしょうか？

### 7 射落畠

源氏のさむらい佐藤継信が義経の身代わりで亡くなった所。八栗口バス停のうらにあります。



### 8 佐藤継信の墓 大夫黒の墓

義経の身代わりとなって死んでしまった佐藤継信のおはかと、大夫黒という馬のおはかです。



### 9 長刀泉

源氏の人々が食事のための水にこまっていたとき、弁慶という義経のけらいが大長刀（反り返った長いのはの刀）がついたたたかいの道具）を使い、土をほって作ったという泉です。



### 10 菜切地蔵

源氏の人々がたたかいを前に朝食の用意をしているとき、弁慶が近くにあったおじょうさんを持ち出して来て、その背中にマナ板がわりにして、ほうちょうのかわりに、大長刀で野菜を料理しました。



### 11 瓜生が丘

屋島にいる平氏をせめるために、源氏の軍が陣（たたかいを前にさむらいが集まっている場所）を張った所。鎌長製鋼工場の東がわに「宇龍ヶ岡」の石の柱が立っています。



### 12 義盛塚

源氏のさむらい、伊勢三郎義盛の陣があった所。ちがう話では、同じ源氏のさむらいで鎌田光政のおはかであるとも言われていますが、いまでもなぞです。白羽公民館の西、およそ100mの田の中にあります。



### 13 六万寺

西暦730年、聖武天皇の命れいによって、たてられたお寺です。源平合戦のときには、御在所と言われる安徳天皇の住まいになっていました。



### 14 源氏が峰

五剣山の南にあり、義経がこの山に登り、平氏の陣を見て、たたかう方法を考えた所だといわれています。昔ここに義経の腰掛石という、丸い大きな石があったとつたえられています。



### 15 明待（赤松）

源氏のさむらいたちが、阿波（今の徳島県）から牟礼に着き、ここで夜の明けのを待ちました。



### 16 弁慶の投石

弁慶が泉をほったとき、大石をはね上げたところ、3キロメートルもとんだといっています。この石（高さ1m、たよ50cm）を弁慶の投石といっています。

